



国際会議「都市における生物多様性とデザイン (URBIO2010)」

開催の御案内

5月18日(火)~22日(土), 2010年

(第2報)

Urban Biodiversity & Design URBIO 2010

Implementing the Convention on Biological Diversity in Towns and Cities

International Conference Nagoya, Japan

18 (Tue) – 22 (Sat) May, 2010

都市の生物多様性と生態系ネットワーク *Urban Biodiversity in the Ecological Network*



2010年10月、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知県名古屋市で開催されます。生物多様性の保全・再生に係る研究や実践活動を展開してきている私たちは、生物多様性条約の「ポスト2010年目標」に向けて、これまでの成果を幅広い連携によってさらに充実させていけるよう国内外にアピールしていく必要があります。その実現手段として、「都市における生物多様性とデザイン(URBIO2010)」を、日本内外の関連諸学協会・諸機関の連携によって開催します。

URBIO (Urban Biodiversity and Design) は、2007年3月にクリチバ(ブラジル)で開催された「都市と生物多様性:2010年目標の達成」に関する会議と、その成果である「クリチバ宣言」を受け、生物多様性条約の都市における実施に向けた科学的実践アプローチを学術的に検討するために形成された、科学者、計画立案者等からなる国際ネットワークです。第1回会議(URBIO2008)は、COP9(2008年)にあわせ、約50カ国から400名程度の参加を得てエアフルト(ドイツ)で開催されました。会議成果としてまとめられた「エアフルト宣言, URBIO2008」は、ボン市等が主催した「“生物多様性のための地域行動”に関する市長会議」にインプットされました。そして、最終的にCOP9の決議IX/28(市自治体と地方当局の参加者宣言)として採択されました。

URBIO2010は、2008年会議の成果を継承しつつ、日本やアジア等の都市における生物多様性を基軸の一つにした検討や情報発信、ネットワークづくりを行っていくことを目指します。2008年5月に神戸で開催されたG8環境大臣会合では、「SATOYAMAイニシアティブ」の国際的な推進が合意され、また、国連大学による里山里海サブグローバルアセスメントも進行しています。このことから、対象を都市内にとどめることなく、都市周辺の里山・里海と都市との関係についても検討します。また、生物多様性の



Convention on
Biological Diversity



保全・回復を実現していく上での、都市住民のリーダーシップや連携のあり方についても検討していきます。そして、URBIO2010の総括を、愛知県・名古屋市がホストとなって開催する「国際自治体会議」に提案するとともに、COP10に反映できるよう調整を行っていきます。

生物多様性の保全や再生に携わる研究者、実務家、NPO等の皆様の、幅広い研究・活動に関する発表、御参加をお待ちしています。

1. テーマ 都市の生物多様性と生態系ネットワーク

サブテーマ I. 都市内・周辺のハビタットの質と生態系ネットワーク

- ・都市内の生態系ネットワーク計画とデザイン
- ・都市の生物多様性と流域の水系ネットワーク
- ・都市域の陸域 - 水域エコトーンの生態的機能
- ・都市の拡大と生物多様性
- ・都市の生物多様性と気候変動
- ・街路と屋上・壁面の緑化

サブテーマ II. 都市における活動のネットワーク化

- ・都市の生物多様性と生態系サービスの評価とモニタリング
- ・都市における人と野生生物との対立
- ・都市域における環境教育
- ・都市住民との協働による保全・再生活動

2. プログラム 2010年5月18日(火)～5月22日(土)

18 (火) 午後	受付, 歓迎会 (名城大学名駅サテライト)
19 (水) 終日	開会挨拶, 基調講演, 口頭発表, ポスター発表コアタイム (ウインクあいち)
20 (木) 午前	基調講演, 口頭発表, ポスター発表 (ウインクあいち)
午後	ミッドコンファレンス・エクスカージョン (名古屋市周辺)
21 (金) 終日	基調講演, 口頭発表, URBIO2010 宣言公式ミーティング, ポスター発表コアタイム (日本語) *, 総会, 閉会挨拶 (ウインクあいち)
夜	懇親会 (名鉄グランドホテル; 日本料理)
22 (土) 終日	日本造園学会との合同公開講演会 (計画中) (名城大学天白キャンパス)
23 (日) ~24 日 (月)	ポストコンファレンス・エクスカージョン 1. 京都御苑・大文字山・北摂菊炭コース 2. 美山萱葺きの里・ブナ原生林コース 3. 信州・山梨・東京コース 4. 中国地方コース

* ポスター発表コアタイム (日本語) は、主に日本語により発表を行いたい方々のための発表コアタイムです。英語では、「主に日本語、一部は英語でディスカッションする特別ポスターセッション (コアタイム)」として案内しています。

URBIO2010 スケジュール



会場	
5月18日	名城大学名駅サテライトオフィス
5月19日～5月21日	ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
5月22日	名城大学天白キャンパス

5月18日(火)	13:00	17:00	19:00
	受付		歓迎会

5月19日(水)	9:00	9:20	10:20	10:30	11:00	11:10	11:40	13:00	15:00	15:10	16:00	16:50
受付												
開会挨拶		休憩	開会基調講演 (森本幸裕 URBIO2010共同議長、 日本)	休憩	基調講演 1 (Maria Ignatieva, ニュージーランド)	昼食	口頭発表セッション	休憩	ポスター発表 1 (コアタイム)	ポスター発表 2 (コアタイム)	ポスター展示	
井上忠佳(URBIO2010共同議長) 山田雅雄(名古屋市副市長) 岩槻邦男(兵庫県立人と自然の博物館 館長) Ahmed Djoghlaif(生物多様性条約事務局 局長, カナダ, ビデオ-レター) Norbert Müller(URBIO Network代表, ドイツ)												

5月20日(木)	9:00	9:30	9:40	10:10	10:20	11:50	13:00				
基調講演 2 (Charles H. Nilon, アメリカ)		休憩	基調講演 3 (Kwi-Gon Kim, 韓国)		休憩	口頭発表セッション		昼食	ミッドコンファレンス・エキスカージョン		
ポスター展示											

5月21日(金)	9:00	9:30	9:40	10:10	10:20	11:50	13:00	13:30	13:40	14:20	15:50	16:00	16:40	18:00	20:00			
基調講演 4 (Peter Werner, ドイツ)		休憩	基調講演 5 (Hadi Susilo Arifin, インドネシア)		休憩	口頭発表セッション		昼食 (URBIO2010 宣言公式ミー ティング)	基調講演 6 (Thomas Elmqvist, スウェーデン)	休憩	ポスター発表(日本語*) (コアタイム)		口頭発表セッション		休憩	総会 / 閉会挨拶		懇親会
ポスター展示																		

5月22日(土)	日本造園学会との合同公開講演会(計画中)														
----------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5月23日(日)	ポストコンファレンス・エキスカージョン出発														
----------	-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

* ポスター発表(日本語)は、主に日本語により発表を行いたい方々のための発表コアタイムです。英語では、「主に日本語、一部は英語でディスカッションする特別ポスターセッション(コアタイム)」として案内しています。



開会挨拶

井上忠佳 (URBIO2010 共同議長)

山田雅雄 (名古屋市副市長)

岩槻邦男 (URBIO2010 特別顧問, 兵庫県立人と自然の博物館 館長)

Dr. Ahmed Djoghlaif (URBIO2010 特別顧問, 生物多様性条約事務局 局長, カナダ) ビデオ・レター

Dr. Norbert Müller (URBIO Network 代表, エルフルト応用科学大学 教授, ドイツ)

基調講演 (Keynotes)

1) 開会基調講演 (19 日)

森本幸裕 (URBIO2010 共同議長, 日本)

Biodiversity and Ecosystem Services in Urban Areas for Smart Adaptation to the Climate Change – “Do You Kyoto?” (気候変動への賢い適応と都市域における生物多様性と生態系サービス – “Do You Kyoto?”)

2) 基調講演 1 (19 日)

Maria Ignatieva (ニュージーランド)

Planning and Design of Ecological Network in Urban Areas (都市域における生態系ネットワークの計画とデザイン)

3) 基調講演 2 (20 日)

Charles H. Nilon (アメリカ)

Management, Conservation, and Urban Biodiversity (マネージメント、保全と都市の生物多様性)

4) 基調講演 3 (20 日)

Kwi-Gon Kim (韓国)

Restoration of Wetland Ecosystem for Enhancing Urban Biodiversity (都市の生物多様性を向上させるための湿地生態系の再生)

5) 基調講演 4 (21 日)

Peter Werner (ドイツ)

The Ecology of Urban Areas and Their Function for Species Diversity (都市域の生態学と種多様性への機能)

6) 基調講演 5 (21 日)

Hadi Susilo Arifin (インドネシア)

Landscape Ecology and Urban Biodiversity in Tropical Country (熱帯における景観生態学と都市の生物多様性)

7) 基調講演 6 (21 日)

Thomas Elmqvist (スウェーデン)

Natural Capital and Indicators of Ecosystem Services and Biodiversity in Urban Landscapes (都市景観における自然資本と、生態系サービスと生物多様性の指標)

企画分科会（口頭発表セッション）（申込受付順）

これらは、URBIO2010 実行委員会に提案されて、承認されたものです(2009年11月10日現在)。URBIO2010では、これらの企画分科会（口頭発表セッション）にあてはまらない一般の発表（口頭・ポスター）も、受け付けております。奮ってお申し込みください。

企画・組織者	テーマ
Breuste JH and Ignatieva M	Planning and Design of an Ecological Network in an Urban Area (都市域における生態系ネットワークの計画とデザイン)
Nilon C and Mörtberg U	Comparative Studies of Cities: Links to Urban Biodiversity and Urban Design (都市の比較研究：都市の生物多様性とデザインとのつながり)
Lin Y-F and Kuo M	Urban River, its Ecological Functions and Integrated River Basin Management (都市河川, その生態学的機能と統合流域管理)
Asaeda T, Nishi K and Sekine H (浅枝 隆, 西 浩二, 関根英明)	Ecological Functions of Terrestrial-Aquatic Ecotones in the Urban Area (都市域の陸域-水域エコトーンの生態的機能)
Iwasaki Y and Imanishi J (岩崎 寛, 今西純一)	Urban Greening for Human Health (人の健康のための都市緑化)
Itagaki N, Ohashi Y, Hiraga T, Mukoyama M and Yairo H (板垣範彦, 大橋幸雄, 平賀達也, 向山雅之, 八色宏昌)	What Should the Landscape Architects Be in Pursuing the Symbiotic Relationship Between People and Nature? (人と自然の共生に向けたランドスケープアーキテクトのあり方)
Tonosaki K, Asano K and Kobayashi T (外崎公知, 浅野耕太, 小林達明)	Valuation and Monitoring of Biodiversity and Ecosystem Services in Cities (都市における生物多様性と生態系サービスの評価とモニタリング)
Komatsu N (小松尚美)	Corporate Responsibility for Urban Biodiversity & Design (tentative) (生物多様性型都市デザインへの企業参画)
Hayashi M (林まゆみ)	Citizen Participation and Biodiversity (tentative) (市民参画と生物多様性 (仮))
Nakagoshi N (中越信和) and Arifin H-S	Designing Low Carbon Societies in Asia (アジアにおける低炭素社会のデザイン)
Kobayashi T (小林達明) and Kim S-H	Global Warming and Urban Biodiversity: Its Status and Strategy (地球温暖化と都市の生物多様性：その状況と戦略)
Ito K (伊東啓太郎), Fjortoft I and Kamada M (鎌田磨人)	Landscape Design and Ecological Education (ランドスケープデザインと生態学的教育)
Shibata S (柴田昌三)	Satoyama Management and Biodiversity (里山管理と生物多様性)
Yumoto T and Fukamachi K (湯本貴和, 深町加津枝)	Contemporary SATOYAMA: to share urban and rural experiences and knowledge (都市と里山をむすぶ新しい価値の創造)
Kobayashi T and Morimoto Y (小林達明, 森本幸裕)	Restoration Ecology Network in Asia (アジアの再生生態ネットワーク)

3. 会場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター） および 名城大学

4. 使用言語 英語（21日のポスター発表（日本語）は英語を交えながら、主に日本語で行われます。一部の基調講演や分科会には同時通訳をつけることを検討中です。）

5. 参加・発表申込および支払い方法

	早期割引料金 2009年12月31日まで	通常料金 2010年1月1日以降
大会参加費		
一般	¥20,000	¥25,000
学生	¥10,000	¥15,000
ミッドコンファレンス・エキスカージョン（第1報の料金から変更になりました）		
	¥3,000	¥3,000
懇親会	¥8,000	¥8,000
ポストコンファレンス・エキスカージョン（1泊2日、定員25名、催行最少人数20名）		
1. 京都御苑・大文字山・北摂菊炭コース		¥35,000
2. 美山萱葺きの里・ブナ原生林コース		¥35,000
3. 信州・山梨・東京コース（生物多様性センター、 2箇所の国営公園、都市林、東京湾岸の臨海公園）		¥37,000
4. 中国地方コース（2つの再生された湿原、工場の生物多様性緑化、 企業CSRによる森林管理、ブナ自然林）		¥28,000
※ コースの詳細については、ウェブサイトに掲載の予定です。		

参加・発表申込はウェブサイトからお願いいたします。

<http://www.jilac.jp/URBIO2010/>

ミッドコンファレンス・エキスカージョンおよびポストコンファレンス・エキスカージョンは、第3希望のコースまで選択できます（先着順）。申込みが催行最少人数に達しなかったコースは中止となります。懇親会、ミッドコンファレンス・エキスカージョンおよびポストコンファレンス・エキスカージョンに同伴される方がいる場合は、その人数を選択下さい。

支払方法は、クレジットカードまたは銀行振り込みです。ウェブ上の参加申込み画面の指示に従って下さい。銀行振り込みの際の手数料は各自ご負担下さい。早期割引料金の適用を希望される方で、銀行振り込みの場合は12月28日までにお振り込み下さい。

なお、キャンセル時の大会参加費の払い戻しはいたしません。エキスカージョン費および懇親会費については、2010年3月31日までは払い戻し可能です（手数料はご負担ください）。

大会参加費、懇親会、ミッドコンファレンス・エキスカージョンおよびポストコンファレンス・エキスカージョンの領収書は、それぞれ大会参加時に受付でお渡しします。

6. 日程と締め切り

<u>2009年12月31日</u>	<u>発表申込の締め切り</u>
2009年12月31日	早期割引料金の申し込み締め切り
2010年2月28日	講演要旨の送付の締め切り
2010年3月31日	懇親会、ミッドコンファレンス・エクスカージョンおよび ポストコンファレンス・エクスカージョンの参加申し込み 締め切り

7. 講演要旨の送付

口頭発表・ポスター発表とも、所定の様式を用いて英語の講演要旨を2010年2月28日までに、学術部会 今西純一へメールに添付してご送付ください（締切厳守をお願いいたします）。ただし、ポスター発表（日本語）の講演要旨は、英語・日本語のどちらを選択していただいても構いません。講演要旨の様式は、下記のURLよりダウンロードしてください。

<http://www.jilac.jp/URBIO2010/ja/doku.php?id=download>（英語・日本語）

講演要旨の送付先： imanishi@kais.kyoto-u.ac.jp（今西純一）

講演要旨のファイルを添付してご送付いただく際、emailのサブジェクト欄に"URBIO2010_first author's name"とご記入ください。

提出いただいた講演要旨は、実行委員会学術部会による審査を受けます。結果は、2010年3月31日までに連絡代表者に通知される予定です。

8. 発表要領

口頭発表

それぞれの発表時間は15分（発表12分、質疑応答3分）です。

会場にはLCDプロジェクターとパソコンを準備します。パソコンはWindows XPまたはそれ以降のWindows OSで、Microsoft PowerPoint 2007とAdobe Readerをご利用いただけます。ご自身のファイルがMicrosoft PowerPoint 2007 (Windows) で使用可能かどうかをご確認ください。Macintoshあるいは古いバージョンで作成されたファイルはうまく動作しない可能性があります。

ファイルは、CDまたはUSBメモリに入れて、会場までお持ちください。

ポスター発表

ポスターは90 cm（幅）× 210 cm（高）のボードに貼れるようにご作成ください。発表者は定められた時間（コアタイム）、ご自身のポスターの前で控えていただき、ご説明くださいますようお願いいたします。各発表のコアタイムについては、後ほどウェブ上に掲載いたします。

ポスター発表（日本語）

ポスターは90 cm（幅）× 210 cm（高）のボードに貼れるようにご作成ください。発表者は定められた時間（コアタイム）、ご自身のポスターの前で控えていただき、ご説明くださいますようお願いいたします。

ポスター（あるいはポスターのそば）には、必ず、英語のタイトル、連絡代表者と所属の英語表記もお示しください。ポスター発表（日本語）では、主に日本語により説明していただくことにな



っていますが、海外からの参加者のために、ポスター中のキーワードに英語を併記するなど、工夫をしていただけますと幸いです。

9. 宿泊

宿泊については、大会参加者向けの特別割引料金が設定されている名鉄グランドホテルおよび名鉄ニューグランドホテルなどをウェブサイトでご案内いたします。このほか、ウェブでは随時、新しい情報を掲載していきます。

10. 問合せ先

鎌田磨人（徳島大学）

kamada@ce.tokushima-u.ac.jp

橋本啓史（名城大学）

hihashi@ccmfs.meijo-u.ac.jp

URBIO2010 ウェブサイト

<http://www.jilac.jp/URBIO2010/>



実行組織

顧問

● 特別顧問 / Executive Advisors

Ahmed Djoghlaif (Executive Secretary of the Convention on Biological Diversity, CANADA)
岩槻邦男 (兵庫県立人と自然の博物館 館長)

● 顧問 / Advisors

Thomas Elmqvist (Stockholm Resilience Centre, SWEDEN)

Oliver Hillel (Secretariat for the Convention on Biological Diversity, CANADA)

Kwi-gon Kim (Seoul National University / President of the International Consortium for Landscape and Ecological Engineering, KOREA)

Norbert Müller (University of Applied Sciences Erfurt, GERMANY)

Peter Werner (Institute for Housing and Environment -Research institution of the State of Hesse and the City of Darmstadt, GERMANY)

奥水肇 (明治大学 / [社]自然環境共生技術協会会長)

中村浩二 (金沢大学 / 里山里海 SGA 日本科学評価パネル共同議長)

半田真理子 ([財] 都市緑化技術開発機構 都市緑化技術研究所長)

河田誠一 (生物多様性条約第 10 回締約国会議支援実行委員会 総務・調査グループ)

高木俊孝 (生物多様性条約第 10 回締約国会議支援実行委員会 国際自治体会議グループ)

渡邊綱男 (環境省 大臣官房審議官 (自然環境局担当))

棚野良明 (国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地・景観課 緑地環境室)

URBIO2010 実行委員会

● 委員長 (共同議長)

森本幸裕 (京都大学)

井上忠佳 ([株] 創建)

● 副委員長

涌井史郎 (桐陰横浜大学)

原慶太郎 (東京情報大学)

● 事務局長

鎌田磨人 (徳島大学)

● 総務部会

部会長 ; 橋本啓史 (名城大学)

国際渉外担当 ; 伊東啓太郎 (九州工業大学), 小林達明 (千葉大学), 中越信和 (広島大学)



国内渉外担当；春田章博（日本技術士会），池邊このみ（[株]ニッセイ基礎研究所），藤原宣夫（岐阜県立国際園芸アカデミー），香坂玲（名古屋市立大学），辻本哲郎（名古屋大学），飯島健太郎（桐陰横浜大学），小島玉雄（サン・アクト[株]）

広報担当；守村敦郎（人間環境大学）

会計担当；今西亜友美（京都大学），河口洋一（徳島大学）

● 学術部会（*兼務者）

部会長；今西純一（京都大学）

研究部門担当；倉本宣（明治大学），浅枝隆（埼玉大学），浅野耕太（京都大学），林まゆみ（兵庫県立大学），大藪崇司（兵庫県立大学），近藤哲也（北海道大学），河口洋一（徳島大学），深町加津枝（京都大学），小林達明*（千葉大学），伊東啓太郎*（九州工業大学），夏原由博*（京都大学），今西亜友美*（京都大学），日置佳之*（鳥取大学）

実務部門担当；春田章博*（日本技術士会），趙賢一（[株]愛植物設計事務所），八色宏昌（[株]グラック），小串重治*（グリーンフロント研究所[株]）

URBIO2010 宣言草案担当；外崎公知（[財]都市緑化技術開発機構），小林達明*（千葉大学），原慶太郎*（東京情報大学），池邊このみ*（[株]ニッセイ基礎研究所），倉本宣*（明治大学），浅枝隆*（埼玉大学），春田章博*（日本技術士会），八色宏昌*（[株]グラック），藤田直子（森林総合研究所）

ミッドコンファレンス・エクスカージョン担当；橋本啓史*（名城大学），小串重治*（グリーンフロント研究所[株]），守村敦郎*（人間環境大学）

ポストコンファレンス・エクスカージョン担当；日置佳之*（鳥取大学），夏原由博*（京都大学）

● 監事

柴田昌三（京都大学）

逸見一郎（[株]地域環境計画）

■主催学協会■

日本景観生態学会，（社）日本造園学会，日本緑化工学会，（財）都市緑化技術開発機構，（社）自然環境共生技術協会，（社）日本技術士会

■協賛学協会■

International Consortium for Landscape and Ecological Engineering、ジャパン イフラ、自然環境復元学会，（財）公園緑地管理財団、（財）都市緑化基金、（社）日本公園緑地協会、（社）都市計画コンサルタント協会、（社）ランドスケープコンサルタンツ協会、（社）日本造園建設業協会、（財）海洋博覧会記念公園管理財団、（財）名古屋都市センター



募集する研究・活動発表の内容

主テーマ：都市の生物多様性と生態系ネットワーク

URBIO2010 では、「都市の生物多様性と生態系ネットワーク」を主テーマとして、以下の2つのサブテーマに基づいて検討します。

サブテーマⅠ. 都市内・周辺のアビタットの質と生態系ネットワーク

都市生態系の特異性は、都市と、それをとりまく流域・地域との間での、物質やエネルギーや情報のやり取りの結果を反映したものです。都市の生物多様性は種の移出入量で決定づけられ、アビタットとなる空間の質は、その場の生態的状态のみならず、周辺の生態系との位置関係等で決定づけられます。

これらに関する理論的・実証的な研究成果をもとに、都市の生物多様性の向上・向上を図っていくための手法を検討します。

サブテーマⅡ. 都市における活動のネットワーク化

都市の生物多様性を回復するための活動の実践には、地域住民が参加し、また、リーダーシップをとっていけるようにすることが重要です。そのためには、行政、研究者・技術者、NPO、地域住民等での人的資源のネットワーク化を図っていくことが求められます。そして、都市住民が、日々の生活の中で自然と触れ合える状態を作り出していかなければなりません。

地域住民、NPO、行政が、生物多様性が持つ意味についての気づきを得ていくために、また、活動を促進していくために、何がインセンティブとなるのか、どのような“しかけ”が必要で有効なのかを検討します。

以下、期待される発表内容です。皆様が発表を準備される上での参考として示すもので、これらに限るものではありません。皆様からの積極的な発表申込をお待ちしています。

サブテーマⅠ. 都市内・周辺のアビタットの質と生態系ネットワーク

1. 都市内の生態系ネットワーク計画とデザイン
 - ネットワーク計画とデザインのためのコンセプトと方法
 - 実践にあたっての課題と解決法
 - 世界各地の都市における事例
2. 都市の生物多様性と流域の水系ネットワーク
 - 河川ネットワーク
 - 溜池－用水路－排水路のネットワーク
 - 水系をとおした生物と物質の移動
 - 水質と生物多様性
3. 都市域の陸域－水域エコトーンの生態的機能
 - 都市内・周辺の川辺、干潟、海岸、湾における生物多様性
 - 水質浄化機能
 - 防災事業と生物多様性

4. 都市の拡大と生物多様性
 - 拡大した都市域に残る森林と耕作地
 - 都市に再生・創造された森林・緑地
 - 都市周辺に残る森林との再ネットワーク
 - 新しい住宅地や産業地域の生態的計画・デザイン
 - 造成地や埋立地における生態系修復
5. 都市の生物多様性と気候変動
 - 地球規模の気候変動の前兆としての都市気候
 - 気候緩和のための都市のデザイン
 - 気候変動への適応戦略
 - カーボンオフセット市場と生物多様性
6. 街路と屋上・壁面の緑化
 - 都市景観が持つ生態的機能
 - 都市緑地が持つ野生生物のための飛び石機能
 - 都市における緑の回廊づくり
 - 都市と建物の持続的デザイン

サブテーマ II. 都市における活動のネットワーク化

7. 都市の生物多様性と生態系サービスの評価とモニタリング
 - 都市の生物多様性の状態と変化傾向の測定
 - 都市の生物多様性の測定と地図化
 - 都市の生物多様性モニタリング
 - 都市の生物多様性指標
 - 生態系サービスと人間の福利についてのアセスメントー 都市域における変化と対応
 - 生物多様性が都市生活にもたらす生態系サービスの経済評価
8. 都市における人と野生生物との対立
 - 都市における外来種問題と対策
 - 害をもたらす生物と対策
 - 生物と共存するための都市の文化
9. 都市における環境教育
 - 都市生活者のための“疑似”自然
 - 親水性川づくり
 - 学校や公園におけるビオトープの計画・デザインと利活用
 - 都市生活者のための環境教育手法
 - 生物多様性と芸術
10. 都市住民との協働による保全・再生活動
 - 生物多様性向上のためのインセンティブ
 - 生物多様性とビジネス
 - 行政，研究者・技術者，NPO，市民の連携と協働
 - 合意形成のためのワークショップ
 - 都市およびその周辺の生態系保全に係る都市住民の責任とリーダーシップ
 - 技術者，コンサルタント，NPO の役割